

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	蟹江町における下水道普及の促進（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）												
交付対象	蟹江町												
計画の目標	下水道整備を早期概成するため、効率的かつ適正な区域の設定や低コスト技術の採用等により迅速に下水道整備を行い、水環境の資質保全・公衆衛生の向上・生活環境の改善を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,354	A	2,330	B	0	C	24	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.01	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	下水道処理人口普及率を25%(H29末)から73%(H34末)に増加させる。（下水道整備推進重点化事業の対象処理区域内） 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 行政人口（人）	25%	48%	73%
2	下水道接続率を38%(H29末)から50%(H34末)に増加させる。（下水道整備推進重点化事業の対象処理区域内） 下水道接続率 下水道接続人口（人） / 下水道を利用できる人口（人）	38%	45%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	蟹江町	直接	蟹江町	管渠(汚水)	新設	富吉南処理分区	150~200mm A=2ha	蟹江町						80	2.50	-
		重点アクションプラン																	
	A07-002	下水道	一般	蟹江町	直接	蟹江町	管渠(汚水)	新設	西大海用処理分区	150~200mm A=11ha	蟹江町						400	2.50	-
		重点アクションプラン																	
	A07-003	下水道	一般	蟹江町	直接	蟹江町	管渠(汚水)	新設	富吉北処理分区	150~200mm A=16ha	蟹江町						450	2.50	-
		重点アクションプラン																	
	A07-004	下水道	一般	蟹江町	直接	蟹江町	管渠(汚水)	新設	学戸新田処理分区	150~400mm A=35ha	蟹江町						1,400	2.50	-
		重点アクションプラン																	
												小計					2,330		
												合計					2,330		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

蟹江町上下水道部において実施

事後評価の実施時期

令和5年8月

公表の方法

蟹江町ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・汚水管渠の整備により、下水道処理面積を52.6ha拡大し、下水処理人口が増加した
- ・下水道処理人口の増加に伴い、下水道接続人口も増加した

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き、下水道整備を行い、下水道処理人口普及率・下水道接続人口の向上及び、水環境の水質保全公衆衛生の改善を図る

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 行政人口（人）	
	最終目標値	73%
	最終実績値	67%
整備区域が目標に届かなかったため		
2	下水接続人口（人） / 下水道を利用できる人口（人）	
	最終目標値	50%
	最終実績値	56%
下水道を利用できる人口に対し、下水接続人口が目標より多かったため		